

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果	ハタハタ資源の増加・安定								
指標	指標名	単位事業費あたりのふ化放流に使用したハタハタ卵粒数						指標の種類	
	指標式	ハタハタ卵粒数(万粒)						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a		0	2,000	2,000	2,000			
	実績b		0	データ等の出典					
	東北		0	委託事業成果報告・補助事業実績報告					
全国		0							
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 04月 翌々年度 月									

指標	指標名	産卵藻場の拡大						指標の種類	
	指標式	産卵藻場の造成箇所数						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値(見込まれる成果による指標)								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a		0	1	4	4			
	実績b		0	データ等の出典					
	東北		0	秋田水産振興センター業務報告書					
全国		0							
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 08月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 ハタハタは県内漁業の生産量・生産額の1~2割を占め、県内漁業者のほぼ全員が漁獲に係わっている最重要の漁業資源であると同時に、つくり育てる漁業や資源管理型漁業など県が進める水産施策の柱であり、今後とも漁業生産の増加と安定を図っていく必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 ハタハタ資源の増大は、漁業者のみならず、流通業者、小売店、加工業者、消費者などが一様に望んでいるところであり、事業の必要性が非常に高い。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

ハタハタ漁業は市町村の行政区分を超える産業であり、漁業者以外の関係者も多岐にわたるため、県の主導的な関与が必要である。

		政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
			重点事業 その他